

株主の皆様へ
第 112 期 報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成30年3月31日

■ ■ ■ 株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社グループの第112期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の営業の概況をご報告申しあげます。



代表取締役社長
最高執行責任者(COO)

酒井 万喜夫

事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善や堅調な雇用・所得環境を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外においては、欧米を中心に堅調さを維持しているものの、米国の保護主義的政策、中東や東アジア等での国際的緊張の高まりなど、世界経済の先行きは不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当連結会計年度における当社グループの売上高は、自動車製品関連事業を中心とした国内外での受注増加により572億6千万円（前期比19.3%増）となりました。

損益面につきましては、売上増収に対応し生産性の向上に努めましたが、原材料価格の高騰、新規部品生産立上げ費用や固定費の増加により営業利益は32億8千6百万円（前期比3.9%増）、経常利益は58億8千1百万円（前期比12.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は39億6千万円（前期比17.1%減）となりました。

なお、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、主に持分法による投資利益が前期比で減少すること（前期は米国関連会社における固定資産売却益9億6千万円を計上）等により、前期を下回っております。

今後の見通し

平成31年3月期の業績予想につきましては、各事業セグメントの需要予測等を踏まえ、売上高は606億円（前期比5.8%増）を見込んでおります。利益面については、原材料価格や為替の動向等を踏まえつつ、自動車製品関連事業を中心とした生産設備の増強・更新、製品競争力強化のための研究開発費の増加等により営業利益は33億円（前期比0.4%増）、経常利益は59億円（前期比0.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は40億円（前期比1.0%増）を見込んでおります。

平成31年3月期 通期 連結業績予想 (単位：百万円)

	平成30年 3月期	平成31年 3月期
売上高	57,260	60,600
営業利益	3,286	3,300
経常利益	5,881	5,900
親会社株主に 帰属する当期純利益	3,960	4,000

<セグメント別内訳（平成31年3月期予想）>

	塗料関連事業	自動車製品 関連事業
売上高	17,200	43,400
営業利益 (セグメント利益)	600	2,700

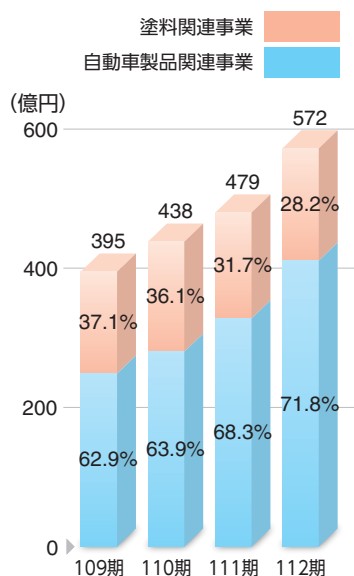
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。

平成30年6月

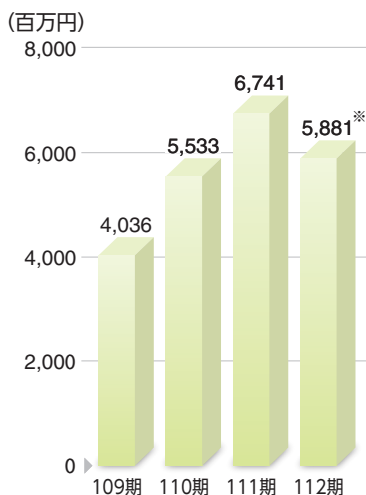
業績の推移（連結ベース）

区 分	平成27年3月期 第109期	平成28年3月期 第110期	平成29年3月期 第111期	平成30年3月期 第112期
売上高（百万円）	39,570	43,812	47,998	57,260
経常利益（百万円）	4,036	5,533	6,741	5,881
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	3,029	3,966	4,778	3,960
1株当たり当期純利益（円）	137.00	179.37	216.11	179.12
総資産（百万円）	53,428	56,894	66,987	77,043
純資産（百万円）	31,385	34,235	39,539	43,674

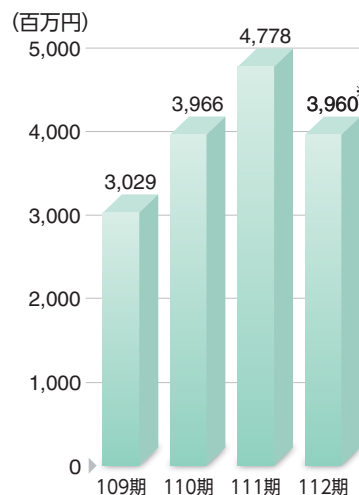
1 売上高（セグメント別）



2 経常利益



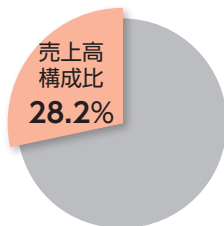
3 親会社株主に帰属する 当期純利益



※第112期の経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、主に持分法による投資利益が前期比で減少すること（前期は米国関連会社における固定資産売却益960百万円を特別に計上）等により、前期を下回っております。

セグメント別事業概況

塗料関連事業



売上高	セグメント利益
161億2千4百万円	4億4千8百万円

売上高は工事関連売上が堅調に推移し、前期比増収を牽引しましたが、セグメント利益は原材料価格の高騰、固定費増加により前期を下回りました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、床用塗料が新規顧客の確保、拡販等により前期比0.6%増加しました。一方、国内需要の低迷、機能性塗料の多様化等に起因する競争激化の影響から、防水用塗料は前期比2.7%減少し、屋根用塗料は前期比8.0%減少しました。

工事関連売上の集合住宅大規模改修工事につきましては、工事契約物件の増加や工事の順調な進捗により前期比28.5%増と大きく伸張しました。

この結果、当セグメントの売上高は161億2千4百万円（前期比5.9%増）、セグメント利益は4億4千8百万円（前期比37.2%減）となりました。

当社の塗料製品・防音材の採用例

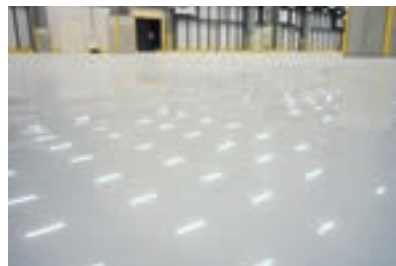
● 建築・構築物用塗料



▲屋根用遮熱塗料「パラサーモン」
（サヌキ畜産加工共同組合）



▲FRP屋根用防水材「タフシール防水工法」
（坂の上の雲ミュージアム）



▲塗り床材「ユータックE-30N」
（ヤマト運輸(株)関西ゲートウェイターミナル）

● 航空機用塗料



▲AIR DO特別塗装機「ベア・ドゥ北海道JET」

● 風力発電ブレード用塗料



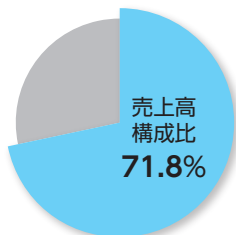
▲風力発電ブレード用塗料
「ウインドハロートップコートF」

● 建築・構築物用防音材



▲制振材「イーディケルM-3500SS」が採用された
「ノエビアスタジアム神戸」（ドーム屋根部分）
©神戸ウイングスタジアム

自動車製品関連事業



売上高 **411億2千2百万円** | セグメント利益 **28億3千万円**

売上高は国内外で新規部品を中心に受注が増加し、前期を大きく上回りました。セグメント利益についても、大幅な増収により前期を上回りましたが、新規部品生産立上げ費用や固定費の増加など売上原価の高止まりでセグメント利益率は低下しました。

品種別売上高につきましては、主力製品の吸・遮音材が、当社グループにとって新規部品となる自動車用フロアカーペット等の受注増加により前期比39.6%増と大きく伸張しました。

また、制振材は前期比4.7%増、防錆塗料は前期比3.2%増、原材料輸出等のその他売上は前期比13.4%増といずれも前期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は411億2千2百万円（前期比25.5%増）、セグメント利益は28億3千万円（前期比16.0%増）となりました。

当社の自動車用防音材・防錆塗料が採用されている部位

- フードインシュレーター（吸音材）



- 吸音ヒートシールド（吸音材）

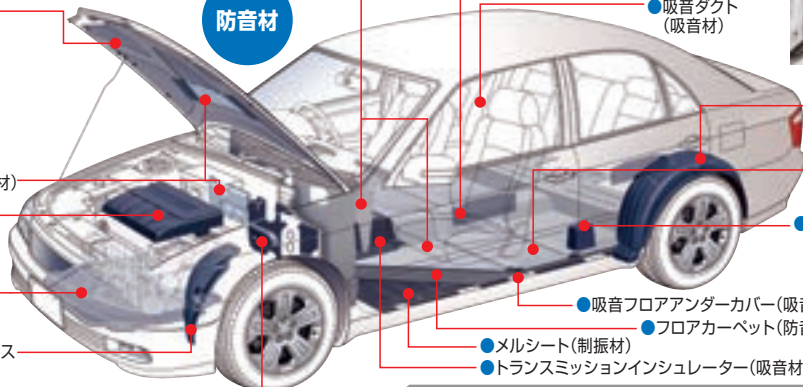
- エンジントップカバー（遮音材）

- 吸音エンジンアンダーカバー（吸音材）

- フロント吸音ホイールハウスプロテクター（吸音材）

- ダッシュアウターインシュレーター（吸・遮音材）

防音材



- RIETER ULTRA LIGHT™（超軽量防音システム部品）
※RIETER ULTRA LIGHT™はAutoneum Management AGの登録商標です

- NTスティフナー（鋼板補強材）

- 吸音ダクト（吸音材）



- リア吸音ホイールハウスプロテクター（吸音材）

- NTダンピングコート（塗布型制振材）

- リトラクターインシュレーター（遮音材）



- 吸音フロアアンダーカバー（吸音材）

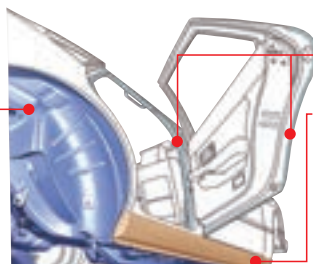
- メルシート（制振材）

- フロアカーペット（防音材）

- トランスミッションインシュレーター（吸音材）

防錆塗料

- NTガードコート [PVC系・アクリル系]（防錆材）



- シールトップ（防水用シール材）

- NTガードコート [PVC系・ウレタン系・アクリル系]（防錆材）



その他（保険代理業）

売上高 **1千3百万円** | セグメント利益 **6百万円**

中国「WNA社」新工場が本格稼働を開始、当社愛知工場も新工場竣工！

中国の湖北省武漢市にあります「武漢日特固防音配件有限公司（WNA社）」は、好調が続く中国自動車産業の波に乗り、防音材部品サプライヤーとしての新たな生産工場となる恵安工場（第2工場）を建設し、2017年7月から本格稼働を開始しております。

恵安工場は長青工場（第1工場）から直線距離で約2km離れた場所にあり、敷地面積約25,000㎡、建物床面積は約21,000㎡と長青工場の約2倍の広さを有する工場です。

WNA社は、長青・恵安の両工場をフルに活用し、世界最大の中国自動車市場において、その存在感をさらに高めてまいります。

一方国内では、当社愛知工場におきまして中部地区での防音材部品の需要拡大に応えるべく、新工場建設を含めた工場再配置を進めております。

2018年2月に新工場の竣工式を執り行い、量産立ち上げに向けた対応を進めているところで、生産設備の一部は既に稼働を開始しております。

新工場の本館は、総合事務所を含む5階建ての建物で最上階の5階には顧客向けの「ニットクギャラリー」を設け、自動車のカットボディを中心とした自動車製品の展示・紹介、当社塗料製品の紹介を行なっています。

愛知工場では、2018年度も引き続き工場再配置計画に基づく工場拡充を進める計画で、防音材部品の大幅増産、さらに生産効率化・安定化に向けた活動を継続し、自動車製品関連事業の成長を牽引してまいります。



▲WNA恵安工場（第2工場）



▲愛知工場 新工場竣工式



▲愛知工場新工場



▲愛知工場「ニットクギャラリー」

「オートアフターマーケットEXPO」、 「インターモーダルアジア」の両展示会に当社塗料製品を初出展しました！

2018年3月14日から16日の3日間、東京ビッグサイト（東京国際展示場）で行われた「第16回 国際オートアフターマーケットEXPO2018」に、当社塗料製品を初出展しました。

この展示会では、自動車の売買・整備・メンテナンスをはじめとした「オートアフターマーケット」の活性化をテーマに、コーティング剤などのケミカル製品や各種施工ツール、オートリペア（自動車補修）関連商品などの展示・実演が行われ、出展は計275社、来場者は3日間でのべ15,041名となりました。

当社ブースでは、防錆性に優れる塗料「イーディケルM-2000NA」と耐チップング性に優れる塗料「NTビチューメンワックス」を塗り重ねた実際の車両部品（大型トラックのホイールカバー）を展示。車体の床裏を跳ね石から守り、冬季の凍結防止剤（塩化カルシウムなど）に耐久性を有する当社製品を紹介するとともに、長期にわたって防錆性能を発揮する最適工法の提案を行いました。



▲「オートアフターマーケットEXPO2018」の当社展示ブース

また、2018年3月20日から22日の3日間、中国上海市の上海世博展覧館（SWEECC）で行われたコンテナ・一貫輸送業界で世界最大規模の展示会「インターモーダルアジア2018」にも当社塗料製品を初出展しております。

コンテナ輸送と物流分野の関係者が90カ国以上から集まり、グローバルネットワークでの複合輸送に特化した製品、サービス、ソリューションを紹介する展示会で、当社は、コンテナ業界大手の中国国際海運集装箱（CIMC）グループで定温輸送コンテナ（リーファーコンテナ）を製造する「揚州通利冷蔵集装箱有限公司（TLC）」のブース内に、汚染防止コーティング材「NT Nondusty G」と遮熱技術提案「Thermal reflection technology」を展示。白色定温輸送コンテナを取り扱う食品輸送関係者を中心に大変多くの反響がありました。

当社は、塗料製品のさらなる拡販に向け、こうした出展活動を今後も継続してまいります。



▲「インターモーダルアジア2018」中国国際海運集装箱（CIMC）グループの展示ブース



▲「NT Nondusty G」を塗布したコンテナ

■ ■ ■ 連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(金額単位：百万円)

科 目	当 期 (平成30年3月31日現在)	前 期 (平成29年3月31日現在)	科 目	当 期 (平成30年3月31日現在)	前 期 (平成29年3月31日現在)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流動資産	29,825	26,815	流動負債	22,715	17,776
現金及び預金	7,760	8,572	支払手形及び買掛金	12,412	10,292
受取手形及び売掛金	12,981	11,193	短期借入金	3,067	2,748
電子記録債権	3,974	2,448	未払法人税等	510	322
商品及び製品	1,573	1,502	役員賞与引当金	91	80
仕掛品	600	578	その他	6,634	4,332
原材料及び貯蔵品	1,138	1,061	固定負債	10,653	9,671
繰延税金資産	448	401	長期借入金	4,966	3,946
その他	1,355	1,064	退職給付に係る負債	4,090	4,230
貸倒引当金	△ 7	△ 7	その他	1,595	1,494
固定資産	47,217	40,171	負債合計	33,368	27,447
有形固定資産	25,044	18,899	純 資 産 の 部		
建物及び構築物	8,234	4,832	株主資本	34,594	31,472
機械装置及び運搬具	7,555	5,992	資本金	4,753	4,753
土地	4,695	4,292	資本剰余金	4,237	4,362
その他	4,559	3,782	利益剰余金	26,103	22,853
無形固定資産	1,191	1,053	自己株式	△ 499	△ 497
その他	1,191	1,053	その他の包括利益累計額	5,645	5,290
投資その他の資産	20,981	20,218	その他有価証券評価差額金	5,383	5,037
投資有価証券	19,117	18,385	為替換算調整勘定	309	428
長期貸付金	322	268	退職給付に係る調整累計額	△ 48	△ 175
繰延税金資産	102	68	非支配株主持分	3,434	2,775
その他	1,475	1,525			
貸倒引当金	△ 35	△ 28	純資産合計	43,674	39,539
資産合計	77,043	66,987	負債純資産合計	77,043	66,987

■ 連結損益計算書

(金額単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)	(平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
売上高	57,260	47,998
売上原価	44,663	36,737
売上総利益	12,597	11,261
販売費及び一般管理費	9,311	8,098
営業利益	3,286	3,162
営業外収益	2,746	3,831
営業外費用	151	253
経常利益	5,881	6,741
特別利益	125	146
特別損失	237	170
税金等調整前当期純利益	5,769	6,717
法人税、住民税及び事業税	1,152	874
法人税等調整額	△ 134	448
当期純利益	4,750	5,393
非支配株主に帰属する当期純利益	790	615
親会社株主に帰属する当期純利益	3,960	4,778

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)	(平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	6,235	6,926
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 7,326	△ 6,055
財務活動による キャッシュ・フロー	232	1,210
現金及び現金同等物に 係る換算差額	46	△ 21
現金及び現金同等物の 増減額	△ 812	2,059
現金及び現金同等物の 期首残高	8,555	6,073
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	422
現金及び現金同等物の 期末残高	7,743	8,555

■ 連結株主資本等変動計算書 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(金額単位：百万円)

残高及び変動事由	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	4,753	4,362	22,853	△ 497	31,472	5,037	428	△ 175	5,290	2,775	39,539	
当期変動額												
剰余金の配当			△ 710		△ 710						△ 710	
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△ 125			△ 125						△ 125	
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,960		3,960						3,960	
自己株式の取得				△ 2	△ 2						△ 2	
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						346	△ 118	127	354	658	1,012	
当期変動額合計	—	△ 125	3,250	△ 2	3,121	346	△ 118	127	354	658	4,134	
当期末残高	4,753	4,237	26,103	△ 499	34,594	5,383	309	△ 48	5,645	3,434	43,674	

会社概要・株式の状況 (平成30年3月31日現在)

会社概要

商号	日本特殊塗料株式会社
英文社名	Nihon Tokushu Toryo Co., Ltd.
創業年月日	昭和4年6月1日
資本金	4,753,085,000円
従業員数	553名(144名*) [連結1,106名(574名*)]

* () 内人員は臨時従業員の外数です。

株式の状況

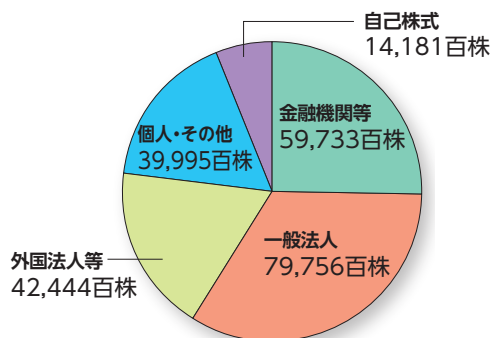
発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	22,193,024株 (自己株式1,418,176株を除く)
株主数	2,695名

大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
AUTONEUM HOLDING AG	31,151百株	14.04%
関西ペイント株式会社	18,677	8.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	13,131	5.92
株式会社三菱東京UFJ銀行	8,788	3.96
明治安田生命保険相互会社	7,560	3.41
株式会社中外	7,267	3.27
トヨタ自動車株式会社	7,054	3.18
ニットク親和会	5,132	2.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,119	2.31
株式会社ヒロタニ	4,990	2.25

(注) 当社は自己株式1,418,176株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



役員の状況 (平成30年6月22日現在)

役員

代表取締役会長 最高経営責任者 (CEO)	野島雅寛	取締役	安井芳彦
代表取締役社長 最高執行責任者 (COO)	酒井万喜夫	取締役*	井井義彦
代表取締役専務 最高財務責任者 (CFO)	田谷純	取締役*	奈良道博
常務取締役	遠田比呂志	常勤監査役	矢部耕三
取締役	水野賢治	監査役*	川名宏善
取締役	山口久弥	監査役*	高橋善一

*印は社外取締役・社外監査役です。

執行役員

執行役員	西岡寿美
執行役員	岡雲三智夫
執行役員	立花哲弥
執行役員	鈴木裕史
執行役員	中村信幸
執行役員	栗原洋幸

事業所 (平成30年6月22日現在)

国内事業所

- 本社 東京都北区
- 開発本部 東京都北区
- 営業所
- 東京営業所 東京都北区
- 営業統括部 東京都北区
- 神奈川営業所 神奈川県平塚市
- 東日本第1営業所 神奈川県平塚市
- 東日本第2営業所 群馬県館林市
- 中部営業所 愛知県知立市
- 中日本営業所 愛知県知立市
- 大阪営業所 大阪府吹田市
- 中四国営業所 広島県東広島市
- 西日本第1営業所 広島県東広島市
- 九州営業所 佐賀県三養基郡
- 西日本第2営業所 福岡県行橋市
- 工業開発部 愛知県知立市
- DIY販売部 東京都足立区

- 工場
- 平塚工場 神奈川県平塚市
- 静岡工場 静岡県御前崎市
- 愛知工場 愛知県知立市
- 広島工場 広島県東広島市
- 九州工場 佐賀県三養基郡
- 東九州工場 福岡県行橋市

●関連会社

- ニットク商工株式会社 東京都北区
- ニットクメンテ株式会社 東京都北区
- 株式会社ニットク保険センター 東京都北区
- 大和特殊工機株式会社 神奈川県藤沢市
- 日晃工業株式会社 茨城県坂東市
- 株式会社タカヒロ 広島県東広島市
- 株式会社ニットクシーケー 福岡県行橋市
- 富士産業株式会社 神奈川県平塚市
- 梅居産業株式会社 福岡県福岡市

海外事業拠点・関連会社

- Uni-NTF,INC. 米国 イリノイ州
- UGN,INC. 米国 イリノイ州 他 全6事業所
- SNC Sound Proof Co.,Ltd. タイ チョンプリー県
- SRN Sound Proof Co.,Ltd. タイ チョンプリー県
- 日特固(広州)防音配件有限公司 中国 広東省広州市
- 天津日特固防音配件有限公司 中国 天津市
- 武漢日特固防音配件有限公司 中国 湖北省武漢市
- Autoneum Nittoku Sound Proof Products India Pvt.Ltd. インド タミル・ナードゥ州チェンナイ市
- PT.TUFFINDO NITTOKU AUTONEUM インドネシア 西ジャワ州



▲SNC Sound Proof Co.,Ltd.



▲SRN Sound Proof Co.,Ltd.



▲日特固(広州)防音配件有限公司



▲天津日特固防音配件有限公司



▲武漢日特固防音配件有限公司



▲Autoneum Nittoku Sound Proof Products India Pvt.Ltd.



▲PT.TUFFINDO NITTOKU AUTONEUM

本社移転のお知らせ

当社は、平成29年9月19日に下記のとおり本社および東京営業所を移転いたしました。



■新住所
〒114-8584
東京都北区王子3丁目23-2

※電話番号、FAX番号の変更はございません



▲開発センター

●=事業所
●=関連会社

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは予め公告して定めた日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.nttoryo.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします)
上場証券取引所 東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について
証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社へご照会ください。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）までご連絡ください。

特別口座について
株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三菱UFJ信託銀行株式会社に口座（特別口座といえます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）までご連絡ください。

未払配当金の支払いについて
左記の株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）にお申出ください。

株主の皆様へ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

「省エネ・節電」が求められる状況をふまえ、弊社の省エネ・遮熱塗料をご案内申し上げます。改修工事をごいましたらぜひ下記営業所までお問い合わせください。担当者が最適なお提案をさせていただきます。

省エネ・遮熱塗料は建物の屋根から外壁、ガラス面などへ塗装することにより、室内温度の低減が期待できるため、これに伴う節電も期待されています。ニットクでは建物をまるごと対策できる遮熱ラインナップをそろえ、皆様のご連絡をお待ちしています。

省エネ・遮熱塗料についてのお問い合わせ先

日本特殊塗料株式会社

■塗料事業本部

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2
神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10
中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12

☎(03)3913-6203
☎(0463)23-2135
☎(0566)81-8111

大阪営業所 〒565-0852 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492
中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231
九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766

■本社 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2

☎(03)3913-6131

<http://www.nttoryo.co.jp/>

■省エネ・遮熱塗料での改修個所の例

ベランダ・バルコニー用省エネ・遮熱塗料

プルーフロンGRトップ遮熱 ノンリークコート遮熱

ベランダ面などに当たる太陽光線を反射し、熱を放射する遮熱タイプの塗料です。

ガラス面用省エネ・遮熱塗料

NTサーモバランスNEO1

既存の窓ガラスに塗布し、赤外線、紫外線カットができる透明タイプの塗料です。

通路用省エネ・遮熱舗装材

ユータックシリカ遮熱

太陽光や熱の蓄積を抑え、路面温度の上昇を減少し、ヒートアイランド現象を緩和する塗料です。

外壁用省エネ・遮熱塗料

パラサーモ外壁用シリーズ NTダンネツコート シルビアセラティ-N遮熱

外壁面からの熱の侵入を遮り、省エネルギーに貢献するとともに快適な居住空間を実現します。

屋根用省エネ・遮熱塗料

パラサーモシリーズ

屋根からの太陽熱の侵入を防ぎ、室内の温度上昇を抑える塗料です。

